

所報

たまじむ

創刊 平成7年7月1日
発行 令和3年9月10日

通算 第83号

東京都多摩教育事務所
東京都立川市錦町4-6-3
Tel 042-524-7222

地域とともにある学校づくりを目指して -コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進-

1 特集について

近年、急激な社会の変化に伴い、いじめ・不登校、情報化の進展など、学校と地域を取り巻く課題は複雑化、多様化しています。こうした状況の中、これまで以上に、学校と地域が連携・協働することが重要です。

学校と地域の連携・協働を効果的、継続的に行うためには、学校と地域住民等が目標やビジョンを共有し、一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」への転換を図ることが必要です。学校運営に地域の声を積極的に生かした学校づくりを進める具体的な例として、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図る取組があります。

本特集では、「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るためのポイントやよさについて紹介します。

2 紙面の活用について

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るためのポイントが確認できます。

コミュニティ・スクールについて知ることができます。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の体制について理解することができます。

一体的推進を図ることのよさがイメージできます。

もっと詳しく知りたい

<2次元コードから、本特集の解説動画が視聴可能>





10秒でできる
Webアンケートはこちら

「地域とともにある学校づくり」を目指して -コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進-



この特集全体の
詳しい内容はこちら

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けては、組織的・継続的に学校と地域が連携・協働していくことが重要です。具体的な取組として、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な実施が推進されています。本特集では、学校と地域住民等が目標やビジョンを共有し、一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指すためのポイントやよさについて紹介します。

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールについて



Q コミュニティ・スクールとは、どんな学校ですか？

A 学校運営や学校の課題に対して、広く**保護者や地域住民が参画できる仕組み**です。



Q **子供と学校**にとって、どんなメリットがありますか？

A 子供たちの**学びや体験活動が充実すること、地域の担い手としての自覚が高まること**などです。



A 地域の人々の**理解と協力を得た学校運営**や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となること、地域の協力により**子供と向き合う時間が確保できること**などです。

もっと詳しく知りたい場合は、**解説動画**を御覧ください。



ポイント

「どのような子供たちを育てるか」、「何を實現していくのか」を共有する

共通の目標・ビジョン



役割に応じた解決策や方策が洗練される

熟議

互いの立場や果たすべき役割の理解が深まる

協働

地域の創意工夫や特性を生かす

学びがより豊かで広がりをもつ

コミュニティ・スクール

学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会

学校運営や必要な支援に関する協議



学校

地域

一体的推進

地域学校協働活動

学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

地域学校協働本部

幅広い地域住民等の参画



よさ

保護者・地域住民等が積極的に**子供の教育に参画**するようになる。



保護者・地域住民等の生きがいにつながり、**子供たちの学びや体験が充実**する。



保護者・地域住民等の**理解と協力を得た学校運営が実現**する。



生徒指導、防犯、防災等の面で**課題解決に向けた効果が期待**される。



参考文献 ① これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動 (令和2年3月 文部科学省) ② コミュニティ・スクール2018~地域とともにある学校づくりを目指して~ (平成30年 文部科学省)
③ コミュニティ・スクールのつくり方 (「学校運営協議会」設置の手引き 令和元年改訂版) ④ コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議中間まとめ (令和3年8月 コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議)
⑤ 学校と学びの未来 (文部科学省 <https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/>)